



シンポジウム

子ども中心の いじめ解決に向けて

～いじめ対応と重大事態調査の最前線～

2026年2月28日(土)

13:30～16:30(受付開始 13:00)

弁護士会館2階クレオA(千代田区霞が関1-1-3)

東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」B1-b出口より直通

主催：東京弁護士会

会場参加 200名(先着順)
Zoomウェビナー 500名(先着順)



ウェビナーにはこちらのURLからご参加ください。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_HwXDpdVrSCeFrgpixBtYhQ

入場無料
どなたでもご参加
いただけます

※事前登録は不要です。当日、開始時間になりましたら、
QRコードまたはURLからアクセスしてください。

いじめ防止対策推進法施行から12年が経過し、学校に求められるいじめに対する姿勢や対応が明確になりました。

しかし、この12年の間に、いじめ対応やいじめ重大事態調査の場面で、当事者である子どもたちの傷つきや葛藤は十分にケアされてきたでしょうか。

学校現場でのいじめ防止対策推進法の趣旨の理解が不十分であったり、法律の定める広範な「いじめ」の定義によってとまどいが生じている状況も見られます。

本シンポジウムでは、子どもたちからのアンケートや実態調査を踏まえ、各界の専門家のお話も聞きながら、子どもの最善の利益とその前提となる子どもの意見表明権保障の視点から、子どもたちの傷つきや葛藤に対して、教育に携わる大人たちがどのようにアプローチしていくか、共に考えます。

お問合せ先

東京弁護士会人権課
03-3581-2205



プログラム

第1部

- 基調報告① 子どもたちへの「いじめ」に関するアンケート調査の報告
基調報告② 弁護士が関与した いじめ重大事態調査の実情と課題

第2部

パネルディスカッション 「子ども中心のいじめ解決のために、何が求められるか」

ファシリテーター：佐藤香代弁護士 パネリスト：建部豊さん、牧野晶哲さん、桑原斎さん

建部豊さん

帝京大学大学院教職研究科教授。早大卒後、公立中学校社会科教諭として勤務し、その後18年間、都教育行政に従事。世田谷区中学校長を経て定年退職。教員研修講師のほか、自閉症児の保護者としての立場で講演も行う。

牧野晶哲さん

白梅学園大学准教授。スクールソーシャルワークを中心に研究・教育、各地での研修・人材育成等に携わる。子どもを取り巻く環境への支援を重視し、いじめ・不登校などの課題に向き合う実践と研究を続けている。

桑原斎さん

埼玉医科大学教授・副診療部長。児童青年精神医学を専門とし、科学的根拠に基づく標準的な診療の実践に注力。子どものこころ専門医など多数の資格を有し、いじめによる心的外傷や発達障害などの診療にも取り組む。